



中津ロータリークラブ週報

2022-2023年度 中津RC会長テーマ

ENJOY ROTARY ローターリーを楽しもう!

IMAGINE
ROTARY

イマジン ローターリー

ジェニファー・ジョーンズ 2022-2023 RI会長テーマ

第3306回 2022年10月19日 点鐘:12:30

本日の出席者	会員数	47名	欠席者 (14名)	事前: 仲会員 (東龍IAC)
	出席対象者数	47名		林会員、日高会員、井上会員、柿内会員、松本会員、三重野会員、峯中会員、永岡会員、末廣会員、高津会員、恒廣会員、和田会員、山本昌豊会員、黒田会員
	出席数	33名		
	出席率	70.21%	今週の歌	我等の生業
来訪者	曾我俊裕氏 (中津市歴史博物館)			

●会長の時間 [細川会長]

10月24日の世界ポリオデーの前の10月16日に、昨年続き第2回目となるポリオ根絶寺町チャリティーコンサートを西蓮寺で行いました。当日は40名を超える方にご参加いただき、当日参加できない方にも事前に募金のご協力を頂きました。おかげさまで117,166円のご寄付が集まりました。この日のことは地区の公共イメージ委員会よりマスコミ各社にPRしていただき、当日はTOSが取材に来てくれました。コンサートの様子はその日の夕方5時半からのイブニングニュースで取り上げられました。今回のコンサートは東九州龍谷高校のナムナムガールズの皆さんにも参加していただき、インターアクトクラブも受付などお手伝いをしていただきました。皆様、ご協力ありがとうございました。

10月15日はマンダラゲの会に参加しました。今回の講師は愛媛県立中央病院の土手健太郎先生で、愛媛とオランダとの交流の歴史や、三津同盟に大津を加え四津同盟に、など面白い話を聞かせていただきました。また中津南高出身の南松山病院副院長の坂山憲史先生も来られていて懇親会でも大いに盛り上がりました。加えて大阪天満橋RCの重里さんという方が来られていて関西日蘭協会についてお話を聞くことができました。この方はマンダラゲの会に10年間くらい参加されているそうです。

私は一昨日よりリンゴの仕入で青森に行っていました。今年はリンゴが昨年より2割くらい豊作といわれていますが、実際は相場が厳しく、消費する市場は安く、産地は高いという現象です。ただ現地に行くといろんな情報があるので、工夫してお客様に提案することが大切だと思います。

青森にいた時、永岡会員から「家具の買い付けでイタリアへのトランジットで今ドーハにいる」とLINEがきました。ドーハでは250mlのジュースが700円する。世界

では物価が高騰していて、日本だけ貧乏なのではとのことでした。永岡さんもいろんな勉強をしてチャレンジをしているようです。景気が悪いとかいろいろ嘆いても仕方がないので、動いてみてチャレンジすることが大切なのではと思いました。

●幹事報告 [原岡幹事]

- ・例会変更 中津中央、湯布院、大分7クラブ
- ・週報回覧 中津平成
- ・その他回覧 別府RC70周年のお礼、横浜港北RCより瀧パストガバナー卓話のお礼、ハイライトよねやま、10/26山形南RC交流例会出欠表

●委員会報告

・理事指名委員会 [松永委員長]

10月15日までに立候補者がいませんでしたので、理事指名委員会で候補者を推薦し、11月9日の例会で発表し、12月第1例会の年次総会で投票を行います。毎年立候補者がいません。積極的な取り組みをお願いします。

・ロータリー財団委員会 [丹羽委員長]

ポリオ根絶寺町チャリティーコンサートご協力のお礼。

●ニコニコボックス

[瀧会員] ポリオコンサートのお礼。

[佐藤裕史会員] サイバーリスクセミナーのご案内。

[丹羽会員] ポリオコンサートのお礼。

[川嘉真人会員] マンダラゲの会、ポリオコンサートのお礼。

[原岡会員] 妻誕生祝い花束のお礼。

●ゲスト卓話

「三津同盟と中津蘭学・洋学」

中津市歴史博物館
学芸員 曾我俊裕氏



蘭学・洋学 三津同盟とは？

優れた蘭学者・洋学者を輩出した、共通の歴史的背景を持つ中津市と、岡山県津山市・島根県津和野町(いずれも津がつく)は、相互に連携・協力して学術や知的観光を振興し、共通のアイデンティティである「蘭学・洋学のまち」を積極的にプロモーションするため、締結・調印するもの。

蘭学・洋学

三津同盟



令和3年11月18日に中津市・津和野町・津山市で「蘭学・洋学 三津同盟」を締結。

なぜ締結することになったか？

- ・津山市・津和野町は、日本初のヨーロッパへの国費留学生を輩出したという過去がある。
- ・津山藩と中津藩はともに江戸蘭学を牽引したという過去を持つ。
- ・津山・津和野・中津の人物が関った日本初の学術啓蒙団体「明六社」の設立から来年で150年を迎える。

江戸の蘭学と中津・津山



前野良沢からはじまる江戸の蘭学は、良沢・玄白の弟子であった大槻玄沢から、津山藩医・宇田川家三代の時代に入る。

特に、宇田川玄真は銅版画付き解剖書『医範提綱』を認めたことで著名な人物であり、当時の江戸蘭学の旗手であった。

津山・津和野の関わりー文久和蘭留学生

日本初のヨーロッパ国費留学生。

開国に伴う、国際化や軍備の近代化の必要性から、軍艦操練所から榎本武揚、沢太郎左衛門、赤松則良、内田正雄、田口俊平、蕃書調所から津田真道、西周、そこに、長崎で医学修行中の伊東玄伯、林研海が加わり、文久2年(1862)から、オランダ・ライデン大学へ留学

西周(津和野)と津田真道(津山)が主要な留学生！

明六社とは？

- ・日本初の学術啓蒙団体
- ・1873年(明治6年)7月にアメリカから帰国した森有礼が、福澤諭吉(中津)・西周(津和野)・津田真道・箕作秋坪・箕作麟祥(津山)らと共に同年秋に啓蒙活動を目的として結成。
- ・会員には旧幕臣の洋学者、開成所の関係者、慶應義塾門下生が中心となり、「官民調和」で構成された。
- ・現在の日本学士院に発展する。

三津同盟で行う活動

博物館・資料館の交流と共同研究の促進
知的観光の振興と多分野交流の促進
連携協力による広報活動の展開

今後の展望

- ・博物館だけではなく、市や市民同士の交流も！
→11月も津和野町で行われるイベントに中津市から出店予定
Ex 津山ホルモンうどん、源氏巻
- ・来年度は明六社にまつわる展覧会を開催する予定
〈ぜひ、皆さまもご協力をお願いいたします〉

ありがとうございました



津田真道(津山) 西 周(津和野) 福澤諭吉(中津)

出典 国立国会図書館「近代日本人の肖像」(<https://www.ndl.go.jp/portrait/>)

●例会のご案内

11月2日(水) 祝日週休会
11月9日(水) ゲスト卓話
「大江の源流と観定寺」
観定寺住職 大江憲成氏



中津ロータリークラブ週報

国際ロータリー
第2720地区

事務局 / 〒871-0055 大分県中津市殿町1383-1 中津商工会館2F
TEL 0979-22-6908 FAX 0979-22-6909

E-mail nakatsu.r.c@feel.ocn.ne.jp URL <https://www.nakatsu-rc.com>

例 会 / 毎週水曜日 12:30~13:30 ウィラルーチェ中津 TEL 0979-23-1122

●2022-2023年度

会長 / 細川 唯 幹事 / 原岡知徳 IT支援・RI情報・公共イメージ委員長 / 永岡侍紀史